

公表日

令和 7年 12月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら 厚木恩名教室

保護者等数(児童数) 19名

回収数 19件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18			1	・活動スペース、食事スペースそれぞれ 十分にあると思われる。 ・体操をする広い部屋もあり良い。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14			5	・少人数なので適切。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている と思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリ アフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います か。	17			2	・適切にされていると思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	16			3	・見学の際にきれいな部屋だと感じた。	
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性の ある支援が受けられていると思いますか。	18			1	・こどもに合わせた支援をしてもらえ る。 ・特性に応じた支援を受けられている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援 内容と合っていると思いますか。	18			1	・提供いただく支援内容と合っている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が 客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が 作成されていると思いますか。	19				・保護者の様々な話を聞いた上で提案も してくれて、非常に助かっている。 ・的確に作成されていると思う。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達 支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行 支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に 選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思い ますか。	18			1	・適切に設定され、支援につながってい る。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19				・支援計画に沿った支援となっている。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると 思いますか。	17			2	・こどもに合わせた様々なプログラムを 行ってもらえる。 ・工夫がなされていると思う。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の こどもと活動する機会がありますか。	8		4	7		・公園遊びなどで交流を持ち、社会的な ルールを学習する機会を作る。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担 等について丁寧な説明がありましたか。	19				・丁寧な説明でわかりやすい。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	19				・丁寧な説明がなされた。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・ トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等 が行われていますか。	6	3	1	9		・保護者に向けたプログラムや情報提供で きる機会を検討する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達 の状況について共通理解ができていると思いますか。	19				・送迎時に活動内容を詳しく報告しても らえている。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1		1	・送迎時に困りごとを聞いてもらい、助 言をいただき助かっている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				・支援をしていただけている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士 の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士 の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされてい ますか。	6	2	3	8		・昨年度は11月に保護者会を実施。 今年度の開催については現在調整中。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備され ているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があること について周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に 対応されていますか。	19				・こども本人の気持ちに寄り添ってもら い感謝している。 ・連絡後、すぐにご対応いただける。 ・相談した際は適切にご対応いただけ る。	

保護者への説明等	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19				・送迎時に本日の様子をお伝えいただくに加え、ご家庭での様子も伺っていただける時がある。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19				・その日の様子をブログで見られるのが 楽しみで、安心して通所させられる。 ・ブログで活動の内容がわかる。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3		2	・契約時に説明を受けている。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2		8	・避難訓練を行っていると聞いている。	・毎年2回は開催している。ブログや新聞等を通して訓練の様子が伝わるよう工夫していく。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			4	・安全が確保された支援をしていただいている。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			2	・ご説明いただいている。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18			1	・いつも楽しそうに通所している。 ・先生方を信頼し、安心をもって通所で きている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1		1	・とても楽しいようで毎回楽しみにしている。 ・次はいつ？ など聞かれる。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18			1	・出来ることがとても増えた。 ・支援の内容に満足している。 ・子どもの成長を少しずつ感じている。	

公表日

令和 7年 12月 20日

事業所名

こばんはうすくら 厚木恩名教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・利用人数に合わせた調整を適宜行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日の清掃を欠かさず行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・クールダウンが必要なときや着替えの際など、時と場合に応じて個室の利用を認めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケートをもとに会議をし、改善策について話をしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝礼、会議を中心に話し合いができています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・該当機会なし。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修内容は報告書にまとめて職員間で共有している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・日々の様子や個別面談の内容を踏まえて作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・保護者のニーズを専門的支援に反映し、一人ひとりの目標として取り組んでいる。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・日替わりで考案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・その季節に適した制作課題や外出先を選定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・トイトレや着替えなど個別に身辺自立の向上、集団での一斉指示についてなど実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝礼にて当日行われる支援内容の確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・業務日報を作成している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域の教育機関との連携体制が維持されている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて適宜行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて適宜行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			・相談支援事業所や保育所等訪問支援員等と情報を共有している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時を中心に行う。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・ペアレントトレーニングなど講座など情報を伝えていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・適宜面談を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・連絡帳、送迎時、面談時に行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・昨年度は11月に保護者会を実施している。今年度は現在調整中。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・新聞やブログを通して発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各事案に関する職員会議を定期的に実施し、マニュアルの作成を行う。また、不定期で避難訓練も行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・必要書類を作成し、職員間で共有している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に確認するほか、服薬状況に変更があった際の把握に努めている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・契約時に行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・マニュアルの作成と定期的な見直しを行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・該当事案発生時には、ヒヤリハット及びアクシデント報告書の作成後、全職員に共有し再発防止に取り組んでいる。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止に関する会議を定期的開催している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束に関する会議を定期的開催している。	